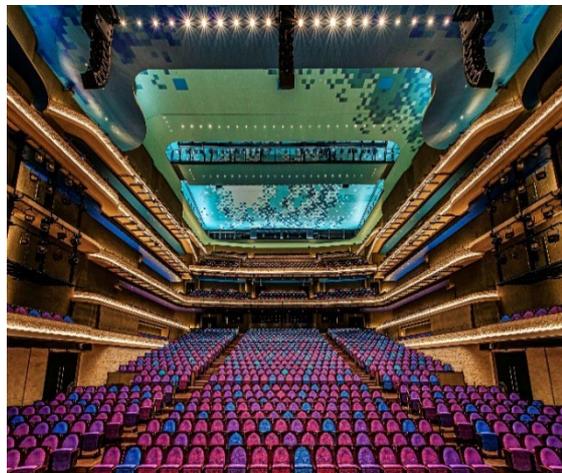


ようこそ 歴史と文化のまち 那覇市へ！

令和5年度全国公立文化施設協会定時総会・研究大会が沖縄県那覇市で開催されることになり、大変光栄に思っております。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



那覇文化芸術劇場なは一と



大劇場

◆ 那覇市について

わたしたちの街「那覇市」は、沖縄県の県都として、人口32万人余を有する政治・経済・文化の中心地です。また首里台地(標高165m)から東シナ海に面して、ゆるやかに傾斜した平野部を背景に、古くから港が整備されるなど、海外との交流拠点として、「琉球王国」文化が華ひらいた街です。

気候的には、暖かい黒潮の影響もあって、冬でも暖かく、夏は、四方の海から吹く風が吹き抜ける、年間の平均気温差が少ない、過ごしやすい土地です。

先のアジア太平洋戦争末期の沖縄戦では、街は焦土と化しましたが、1972年の日本復帰を経て、多くの県民市民の努力と協力によって、現在の那覇市へと発展してきました。

21世紀をむかえ、那覇市は、沖縄都市モノレール・中心市街地及び新都心地区を核としたまちづくりを展開しています。また市民との協働のまちづくりや次代を担う子どもたちの育成を中心とした諸施策を展開し、風格ある県都としての新たな那覇市の実現をめざします。

◆ 那覇の新しい文化発信拠点 なは一とについて

那覇文化芸術劇場なは一とは、「感動を共有する文化の拠点」として、文化芸術の専門スタッフと市民の対話にもとづき、教育・国際交流・産業・福祉・観光などの他分野と連携しながら、「地域文化を創造・発信する」「優れた文化芸術に触れる」「育て・交流する」ことのできる、那覇市の新しい劇場です。

劇場設計のモチーフには、首里織や花ブロック、ウナー(御庭)、スージグワー(路地)、アマハジ(雨端)など、沖縄・那覇ならではの要素を取り入れ、外に植えられている木々の多くは沖縄で昔から織物の染色に使われてきた植物たちです。

さまざまな分野の舞台芸術作品の上演に対応可能な基本性能を備えた約1600席の大劇場と、可動式の客席により多様なスタイルで利用できる約260席の小劇場を備えるほか、スタジオや練習室など気軽に利用できるスペースもあります。広々とした吹き抜きのロビーは作品鑑賞後に感想を語り合う場として最適です。

なは一とのプログラムは、舞台芸術だけでなく、展覧会やロビーコンサート、ワークショップやシンポジウムなど多様で、市民の文化活動もサポートしています。

公益社団法人 全国公立文化施設協会 那覇大会

日程：令和5年6月15日(木)、16日(金)

会場：那覇文化芸術劇場なは一と 那覇市久茂地3-26-27 モノレール県庁前駅から徒歩6分